



あれこれ通信

しぶやとみこの議会報告

NO. 60

2010年2月7日

渋谷とみ子の会

埼玉県比企郡嵐山町平沢 254-64

Tel / Fax 0493-62-7997

<http://www.k2.dion.ne.jp/~saiko/shibuya/>

Eメール shibuya97@s4.dion.ne.jp

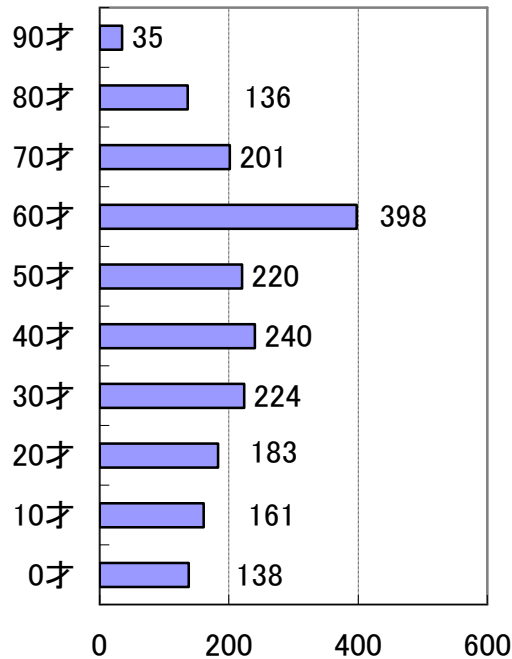
少子高齢化のスピードが速い嵐山町。

グラフのように、嵐山町の0才児は30才の人の約3分の2の138人です。60才の人の半分にも満たず3分の1強です。年齢別人口構成では年少人口(0~14才)は2279人12.1%で全国平均13.4%より低く、高齢者人口(65才以上)は4322人で23.0%、全国平均22.5%で、平均よりも少子高齢化が進んでいます。

10年後、20年後を想像してください。なくなる方もいますが、70才人口が多くそ

れ以降の年代が急に少なくなっていくます。子ども数は今以上に少なくなってきました。生産年齢人口は、2010年現在で、12187人、2015年11317人、2020年10535人、2025年10007人と少なくなってきました。嵐山町は人口減少と税収が少なくなる時代を想定したまちづくりが必要です。15~64才人口が減少しても、安心して嵐山町で暮らすには、元気な高齢者には適時活躍、働いていただくこと、女性も安心して働ける環境が大切です。保育園や学童保育の充実が求められます。現在は働いて

嵐山町の10才刻み人数(09年12月1日)



いないと子どもを保育園に通園させることができません。しかし、仕事を見つける期間も保育園は必要ですし、兄弟姉妹が同じ保育園に通園することも必要です。

高齢

になっても地域で働いて生活できる仕組みも必要です。地区別では、65才~70才人口が多いのは、菅谷・志賀、60才~64才が多い地区は川島・千手堂・むさし台です。少子高

齢化社会で必要な新しい生活サポートが仕事として確立できると双方にとって有益です。

嵐山町は借金・借金返済を繰り返しています。借金は長期返済(10~25年)です。次の世代に将来必要な政策にかかる費用の上に借金返済の2重の負担を背負わせることになります。若い人が少なく投票に行かない人が多いので、選挙を意識すると高齢者のお話に耳を傾けがちです。高齢者にも、こどもにも、若い世代にも、生き難さを和らげる仕組みがほしいですね。